

リビングプレス

Living Press

クリーニング代を節約

ニット&ダウンジャケットのおうち洗い

衣替えシーズンが到来。しまう前に冬に大活躍したダウンジャケットやセーターの汗や汚れをリフレッシュさせたいけれど、すべてクリーニングに出すとなるとお財布が心配……という方も多いのでは？
今年は家庭で洗濯するコツをつかんで節約に挑戦してみたいはかがでしょうか。

Step
1

洗えるものかをラベルでチェック

まずは衣類についている洗濯表示ラベルを確認しましょう。「洗濯機マーク」「手洗いマーク」があるものは家庭で洗濯できます。とくにダウンジャケットは水洗いができないものと思われがちですが、中身のダウンやフェザーはもともと水に強い素材です。ポイントとなるのは表地に使われている素材で、綿やアクリル、ポリエステル、ナイロンならほとんど洗えます。不向きなのは、レザーやフェイクレザー、羊毛など。ビーズやレースなどの装飾が施されているものも、避けたほうが無難です。

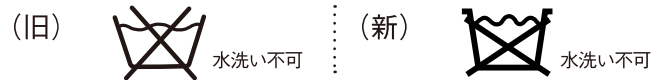
※2016年12月より洗濯表示が新しく変わり、購入時期で表示が異なるので注意しましょう。

○ 水洗いができるもの：洗濯機マークor手洗いマークがある



※マーク内の数字はいずれも推奨する上限温度を示し、洗濯機マークの「弱」の表示は弱水流での洗濯か、弱い手洗いの推奨を示す。洗濯機マーク内の数字は上限温度を示す。洗濯機マーク下の横線は洗濯の弱さを表し、線の数が多いほど弱く洗う必要がある。

✕ 水洗いを避けたほうがいいもの：水洗い不可マークがある

Step
2

ぬるま湯で押し洗い

洗濯機マークがついていても大切な衣類は手洗いがおすすめ。30度以下のぬるま湯にデリケート衣類用の中性洗剤を適量入れ、しっかり溶け込んだら衣類をイン。5分ほど、30～40回を目安に押し洗います。こすったりもんだりすると生地傷みの原因となるので注意しましょう。

ニットの場合

洗面器などを使って洗う。



型が崩れないように たたんで押し洗い

ダウンジャケットの場合

厚手の場合は洗濯機を洗い桶代わりにして洗う。襟や袖など汚れがひどい箇所は前処理を施し、フードやファーがついている場合もはずして別に洗う。



生地を傷めないようあらかじめファスナーやボタンはしめておく

汚れている箇所を部分洗い

水に適量の中性洗剤を溶かして洗剤液を作り、スポンジに浸し軽く叩くようにして落とす

Step
3

脱水&乾燥でふんわりしあげる

押し洗い後、汚れた水を排水してからきれいなぬるま湯で十分にすすぎます。かさばるダウンジャケットは、浴室のシャワーですすぐと便利。その後は、以下の手順で脱水・乾燥させます。しっかり乾燥させないと匂いのもととなるので注意しましょう。

ニットの場合

市販の平ら干し専用ネットを利用すると便利。ピンチハンガーの上部を利用して干しても◎

①折りたたんだニットを洗濯ネットに入れて洗濯機で30秒ほど脱水。
②室内で日陰の平らな場所に広げて乾かす。ハンガーにかけると伸びやすいので注意。



ダウンジャケットの場合

①折りたたんだダウンジャケットを洗濯機に入れて30秒ほど脱水。洗濯槽のバランスが偏ると作動が止まるので注意。
②ダウンジャケットを広げて両手のひらではさんで叩き、羽毛の偏りをほぐす。
③①～②を2回繰り返す。
④シワを伸ばして形を整えてからハンガーにかけて、風通しがいい場所で2日間ほど陰干し。途中、指でつまんでダウンをほぐし、大きく振りさばって中に空気を入れるとよい。



去る11月22日(火)、セキスイハイム不動産が管理する
首都圏の空き物件を対象に、全社員による一斉清掃を行いました。



全社員で取り組んだ

一斉清掃DAY!

当日は1組2~3名のチームに分かれ、役職や部署に関係なく全社員で物件を巡回し、空室や建物周りの清掃・点検を行いました。

チェックシートを用いて物件ごとに清掃状況や設備を確認。不具合が発見された物件については、即時改善に取り組みました。

社員一同、このたびの経験を最大限に生かし、入居者様とオーナー様にご満足いただける管理品質の向上に努めてまいります。

